

東洋陶磁学会 第四十一回大会のお知らせ

新秋の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。
平成二十五年度の大会を左記のとおり茨城県笠間で開催致します。
奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

*日時 平成二十五年十月十九日(土)・二十日(日)

*会場 茨城県陶芸美術館(茨城県笠間市笠間三三四五番地)

<http://www.tougei-museum.ibk.ed.jp/>

*テーマ 「現代陶芸の形成と理論」

―産業と表現―笠間焼を事例に、震災にも触れて―

*趣旨 手作りの産業から一九一〇年代に近代作家による「表現の工芸」が誕生して以来、その先頭切つて他を領導してきた陶芸はきわめて多様で興味深い展開を見せてきた。特に戦後、オブジェと称される立体造形が登場して以来、現代美術との不断の交感など、その存在基盤を問われ続けてきた。産業、表現、現代美術、その多様な展開を後付け、その理論を考える。大きな被害をもたらした震災から復興を経て、立ち直つてきた笠間で、産業と表現の実例を検証しつつ、現代陶芸論を様々な角度から考察する。

*日程

十九日(土) 十二時三十分より受付 一時開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 大橋 康二

・基調講演「現代陶芸の形成と理論：産業と表現」金子 賢治

・研究発表

日本の現代陶芸「萩焼：アンチスタンダード」 石崎 泰之

アジアの現代陶芸「アジア現代陶芸」

―新世代の交感展の十年― 大長 智広

西洋の現代陶芸①「芸術×陶芸」により新しい時代の陶芸へ

西洋×日本」 三浦 弘子

・見学：茨城県陶芸美術館特別展「没後五十年板谷波山展」

・懇親会 午後七時〜 於・ホテルレイクビュー水戸

二十日(日) 午前十時より受付 十時十五分より発表

・研究発表

茨城の陶芸① 作家自作を語る 寺本 守

茨城の陶芸② 作家自作を語る 松井 康陽

茨城の陶芸③ 作家自作を語る 浜岡 満明

(昼食)

日本の産業陶磁「モザイクタイルに関する考察」 村山 閑

茨城の陶芸④「笠間焼の歴史・震災と笠間焼」 久野 亘央

茨城の陶芸⑤「板谷波山と里中英人」 花井 久穂

西洋の現代陶芸②「イタリア的な陶造形のすすめ」

唐澤 昌宏

*費用

・大会参加費(参加者全員) 二、〇〇〇円

・懇親会費(十九日・申込者のみ) 五、〇〇〇円

・昼食費(二十日・申込者のみ) 八〇〇円

*交通 茨城陶芸美術館(茨城県笠間市笠間三三四五番地)

・JR 常磐線で上野駅〜友部駅(特急七十分)

友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(九分)下車

笠間駅からタクシーで五分

友部駅から笠間市内観光周遊バス(料金百円)で二十分

・高速バス 茨城交通高速バスで秋葉原〜やきもの通り、

または笠間駅(二二〇分)下車

・車 北関東自動車道：友部インターから十分、

笠間西インターから十五分

常磐自動車道：岩間インターから二十五分、

水戸インターから三十分



【注意】

・参加申込は**十月十日迄**に、振込用紙にてお願い致します。
・発表の演題および順序が変更される場合がございます。
・「発表要旨」を大会前にホームページに掲載いたします。

東洋陶磁学会

一〇二一〇〇七四 東京都千代田区九段南二一―二一〇

イタリア文化会館ビル四階 KSFフロア

電話・FAX 〇三-三三三三九-二二七七

<http://homepage3.nifty.com/toyotoji/>